

定期予防接種一覧(乳幼児用)

令和6年4月1日改正

予防接種名	ワクチン種類	回数	標準の対象月齢・年齢	公費(無料)で接種可能な対象年齢	同じワクチンを受ける際の接種間隔	異なるワクチンを受ける場合の接種間隔
※1 ロタ	経口生	(1価) ロタリックス 2回	1回目 生後6週0日後～14週6日後に至るまで	生後6週0日後～24週0日後に至るまで	27日以上の間隔を置いて2回接種	制限なし
		(5価) ロタテック 3回	1回目 生後6週0日後～14週6日後に至るまで	生後6週0日後～32週0日後に至るまで	27日以上の間隔を置いて3回接種	
B型肝炎	不活化	3回	生後2か月～9か月に至るまで	生後1歳に至るまで	・2回目は、1回目終了後から27日以上の間隔を置いて接種 ・3回目は、1回目終了後から139日以上の間隔を置いて接種	
※2 小児用肺炎球菌	不活化	4回	生後2か月～7か月に至るまで	生後2か月～5歳に至るまで	・27日以上の間隔を置いて1～3回目を接種(3回目は2歳に至るまでに接種) ・追加(4回目)は、3回目終了後から60日以上の間隔を置いて、 1歳を過ぎてから 接種	
※3 5種混合	不活化	4回	生後2か月～1歳未満	生後2か月～7歳6か月に至るまで	・20日以上の間隔を置いて1～3回目を接種 ・追加(4回目)は、3回目終了後から6か月以上の間隔を置いて接種	
BCG	注射生	1回	生後5か月～8か月未満	生後1歳に至るまで		
水痘	注射生	2回	1回目 1歳～1歳3か月	1歳～3歳に至るまで	2回目は、1回目終了後から3か月以上の間隔を置いて接種	
			2回目 1回目から6か月～12か月の間隔をおく			
MR 1期 (麻しん・風しん混合)	注射生	1回	1歳～2歳に至るまで	1歳～2歳に至るまで		
MR 2期 (麻しん・風しん混合)		1回	小学校入学前の1年間	小学校入学前の1年間		
※4 日本脳炎 1期	不活化	3回	3～5歳未満	6か月～7歳6か月に至るまで	・2回目は、1回目終了後から6日以上の間隔を置いて接種 ・追加(3回目)は、2回目終了後から6か月以上(おおむね1年)の間隔を置いて接種	
		1回	9～10歳未満	9～13歳未満		
※5 DT2期 (ジフテリア・破傷風)	不活化	1回	11～12歳未満	11～13歳未満		制限なし
※6 HPV (子宮頸がん)	不活化	3回	13歳となる日の属する年度 (中学1年生の女子)	小学校6年生～高校1年生の女子	・(サーバリックス)1回目終了後の1か月後に2回目、1回目の接種から6か月後に3回目を接種 ・(ガーダシル)1回目終了後の2か月後に2回目、1回目の接種から6か月後に3回目を接種 ・(シルガード) 【1回目を15歳未満までに接種した場合】1回目の接種から6か月後に2回目を接種 【1回目を15歳以上になってから接種した場合】1回目終了後の2か月後に2回目、1回目の接種から6か月後に3回目を接種	

●月齢・年齢の「至るまで」、「未満」は誕生日の前日まで接種することができます。

●【任意接種(有料)】おたふくかぜは注射生ワクチン、季節性インフルエンザは不活化ワクチンです。

※1 ロタは、**必要回数分を全て同一のワクチンで受ける必要があります。1回目はロタテック、2回目はロタリックスを接種するなど途中で変えることはできません。**

※2 小児用肺炎球菌は、接種開始月齢によって回数が異なります。生後2～7か月に至るまでに1回目を接種できなかった場合は、健康課予防推進係までお問い合わせください。

※3 令和6年4月1日からヒブ、4種混合は5種混合になりました。

※4 日本脳炎2期の予診票は、9歳になる前月末ごろに発送されます。

※5 DT2期(ジフテリア・破傷風)の予診票は、11歳になる前月末ごろに発送されます。

※6 HPV(子宮頸がんワクチン)は、令和3年11月26日付け厚生労働省健康局長通知に基づき、令和4年度より個別勧奨を再開しています。

※7 HPV(子宮頸がんワクチン)の予診票は、小学校6年生の4月に発送されます。